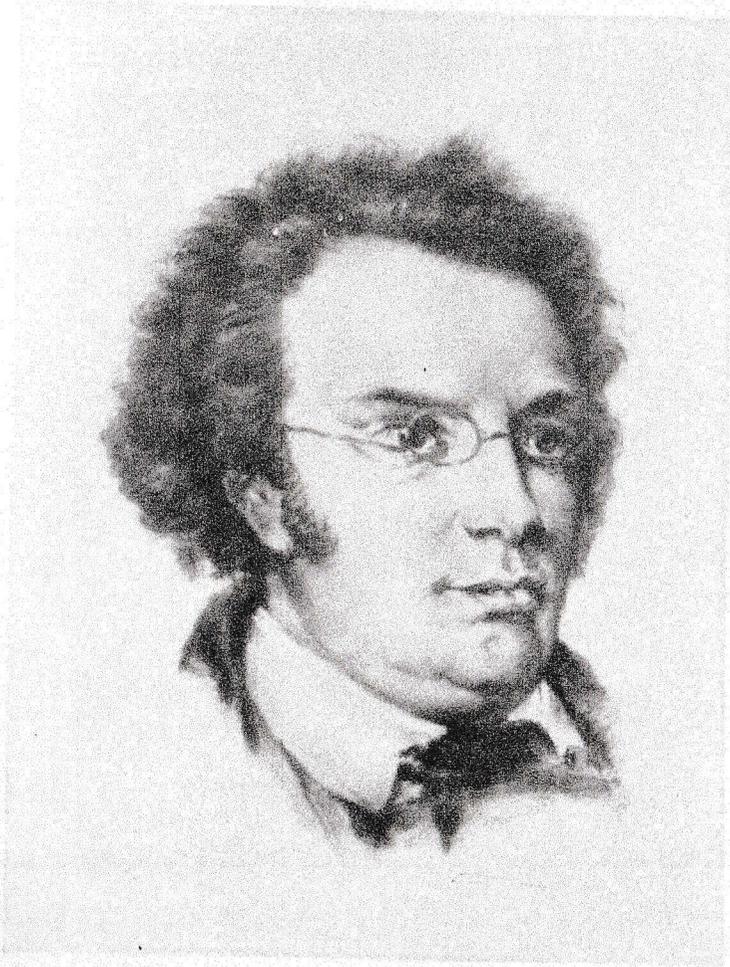


Franz Schubert



シューベルト

文 部 省 検 定 済

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

高等女學校
音樂教科書

山 本 壽 共 編
渡 邊 彌 藏

3

東京・寶文館・大阪

落 葉

Calmato
mp

Volkslied



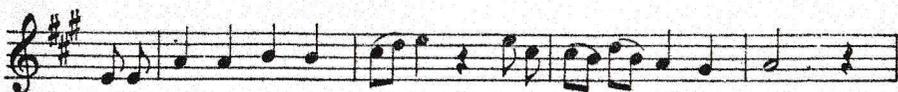
(一) ツユ シモ マシ ローニ アサ ゴト-オキ テ
(二) あさ ごごこめ た-る さぎり-や-そめ し



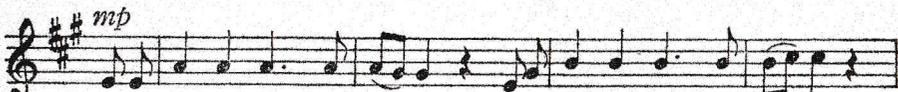
コガ ラ シ サ ム ケ-ク ヨゴト-ニ-フ ケ バ
よごごにそそぎ-じ しぐれ-や-そめ し



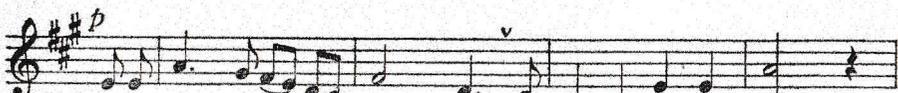
ウシ ロ ノ ハ ヤ シ-ノ シゲ レ ル コ ノ ハ
にはなるもみぢ-も さかりをすぎて



コズ エヲ ハ ナ レ-テ サラ サ-ラ-チ ル ヨ
かぜ な き ゆ ふ ベ-も ちら ち-ら-ち る よ



ハキ ユ ク ア ト ヨ-リ ニハ ノ モ ウ ズ メ-テ
さな がら に しき-を しきたるそのさま



チリ シ クオ-チ-バ ノ イト オ モ シ ロ
はか ず もな-が-む る あしたうれし



ヒラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ラ チラ チ ラ チ ラ チ ラ ラ
さら さ ら さ ら さ ら ら はら は ら は ら は ら ら

落 葉

犬 童 球 溪

(一) 露霜眞白に朝毎おきて
木枯寒けく夜毎に吹けば
後の林の茂れる木の葉
梢を離れてさらさら散るよ
掃きゆく後より庭の面埋めて
散り敷く落葉のいと面白。

ひら ひら ひら ひらら
ちら ちら ちら ちらら。

(二) 朝毎こめたる狭霧や染めし
夜毎に注ぎし時雨やそめし
庭なる紅葉も盛を過ぎて
風なき夕べもちらちら散るよ
さながら錦を敷きたるそのさま
掃かずもながむる朝嬉し。

さら さら さら さらら
はら はら はら はらら。

文 部 省 檢 定 濟

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

昭和四年九月二十五日印刷
 昭和四年九月二十八日發行
 昭和五年十一月一日訂正再版印刷
 昭和五年十一月四日訂正再版發行

不	複	
許	製	

高等女學校音樂教科書

卷 號	定 價	昭和六年度臨時定價
1	金 參 拾 四 錢	金 五 拾 四 錢
2	金 參 拾 四 錢	金 五 拾 四 錢
3	金 參 拾 參 錢	金 五 拾 貳 錢
4	金 參 拾 五 錢	金 五 拾 五 錢
5	金 參 拾 六 錢	金 五 拾 七 錢

編 者 山 本 壽
 渡 邊 彌 藏

發 行 者 大 葉 久 吉
京 市 日 本 橋 區 本 銀 町 三 丁 目 十 四 番 地

發 行 兼 者 柏 佐 一 郎
大 阪 市 西 區 阿 波 堀 通 四 丁 目 二 十 番 地 一

發 兌

大 阪 市 西 區 阿 波 堀 通 四 丁 目 二 十 番 地 一 目 目 目
 神 戶 市 元 町 通 五 丁 目 目
 小 倉 市 京 町 一 丁 目 目
 株 式 會 社 大 阪 寶 文 館

東 京 市 日 本 橋 區 本 銀 町 三 目
 株 式 會 社 寶 文 館